

養老線地域公共交通再生協議会議事概要

項目	内容
会議名	令和7年度養老線地域公共交通再生協議会第2回会議
と き	令和7年12月22日（月） 13:30～15:30
と ころ	クインテッサホテル大垣 3階 ソーレB
出席者	委 員 40名（内代理出席 14名） ※欠席 9名 オブザーバー 2名 事 務 局 3名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>報第1号 養老線交通圏の地域及び公共交通の現状について</p> <p>①養老線沿線市町の現状</p> <p>②養老線交通圏の公共交通の現状</p> <p>③養老線沿線市町の関連計画・社会環境の整理</p> <p>報第2号 養老線沿線の公共交通に関するニーズ等について</p> <p>①養老線沿線住民に対するアンケート調査</p> <p>②養老線利用者に対するヒアリング調査</p> <p>③養老線沿線施設利用者に対するヒアリング調査</p> <p>④養老線沿線企業に対するアンケート調査</p> <p>報第3号 共創事業推進部会（関係者・高校生等）からの提言</p> <p>4 協議事項</p> <p>議第1号 養老線と地域公共交通の課題確認について</p> <p>議第2号 養老線交通圏の将来像と基本方針（案）について</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 養老線交通圏地域公共交通計画策定スケジュールについて</p> <p>(2) 今後の日程について</p> <p>6 閉 会</p>

項目	内容
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>養老線地域公共交通再生協議会会長 大垣市長 石田 仁</p> <p>内容（略）</p> <p>養老鉄道株式会社代表取締役社長 宗藤 洋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業列車で無資格運転という不祥事を発生させてしまいました。本日まで出席の沿線の自治体の首長様をはじめ、関係者の皆様に大変なご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、改めまして深くお詫びを申し上げます。 ・ 本件について、12月17日に中部運輸局様から5項目について、改善指示をいただきました。 ・ 発生直後に、全社員を対象に私と安全統括管理者（中村部長）の訓示を行うとともに、運転室立入禁止の再教育を行い、同時に運転士の職責について教育指導を行った。 ・ 今回の不祥事はもとより、本年5月に発覚した。法令で定められたアルコールチェックも正しく行わず運転士を列車に乗務させた件も含め、会社の管理監督体制、組織風土が問われているということを重々承知している。再発防止に向けて取組みを進めている。

項目	内容
	<p>3 報告事項（進行：石田会長）</p> <p>報第1号 養老線交通圏の地域及び公共交通の現状について</p> <p>①養老線沿線市町の現状 ②養老線交通圏の公共交通の現状 ③養老線沿線市町の関連計画・社会環境の整理</p> <p style="text-align: right;">資料No. 1</p> <p>報第2号 養老線沿線の公共交通に関するニーズ等について</p> <p>①養老線沿線住民に対するアンケート調査 ②養老線利用者に対するヒアリング調査 ③養老線沿線施設利用者に対するヒアリング調査 ④養老線沿線企業に対するアンケート調査</p> <p style="text-align: right;">資料No. 2</p> <p>報第3号 共創事業推進部会（関係者・高校生等）からの提言</p> <p style="text-align: right;">資料No. 3</p> <p>【説明】</p> <p>・報題1号 資料No. 1、報題2号 資料No. 2、報第3号 資料No. 3（事務局）</p> <p>4 協議事項</p> <p>議第1号 養老線と地域公共交通の課題確認について</p> <p style="text-align: right;">資料No. 4</p> <p>議第2号 養老線交通圏の将来像と基本方針（案）について</p> <p style="text-align: right;">資料No. 5</p> <p>【説明】</p> <p>・議第1号 資料No. 4、議第2号 資料No. 5（事務局）</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 養老線交通圏地域公共交通計画策定スケジュールについて</p> <p style="text-align: right;">資料No. 6</p> <p>(2) 今後の日程について</p> <p style="text-align: right;">資料No. 7</p> <p>【説明】</p> <p>・(1) 資料No. 6、(2) 資料No. 7（事務局）</p>

5 閉 会

●協議結果

→全ての議題について、原案のとおり承認

項目	内容
	<p>【主な発言】</p> <p>・ イオンモール株式会社 加藤ゼネラルマネージャー</p> <p>報第3号について様々なアイデアが出て素晴らしいが、今はやはりSNSの世の中で、どれだけ世の中に知ってもらえるか、バズらせるか、若い人を中心に大事だと思う。</p> <p>例えばこの「季節ごとのデザインを車内外にラッピングする」とあるが、都市部だとラッピング電車等を有名な著名人と一緒に行い、Yahoo!ニュースになり、それを見に来るといようなことがある。</p> <p>イオン大垣で、棚橋弘至さんのイベントを開催し、色々プロモーションし、大垣市にスーパースターがいるということで、市内でかなり今話題になり、1月4日にパブリックビューイングをやることになっている。全国初の新日本プロレスさんとの共創の取組み。</p> <p>新日本プロレスさんとネットワークがあるので、例えば、養老鉄道さんのラッピング電車等を作ってもらい、かなり洒落が利いていることもやっている。それをやることによって、大垣市が日本にさらに養老鉄道と共にバズって、その電車を見に来て写真を撮りに来る方が増えるような、相乗効果できればいいと思う。</p> <p>もしよろしければご紹介いたしますので、何か取組みが一つでもできればと思う。今、旬な話題なので、よろしく願いいたします。</p> <p>・ 岐阜協立大学 竹内教授</p> <p>冒頭のご報告で人口の減る話があった。この人口は、人口構成、死亡率、出生率等、自然増減についてはほぼ確実に予想ができる。</p> <p>資料1の人口減は、社会移動は今の通りで、同じような人口減であるとする当然、養老鉄道の利用者数も減り心配である。リ・デザイン協議会では、電車の車両の更新があり、何十年先を考えた時の問題点をご議論いただいた。</p> <p>定住人口が減っていくと、全部の人口が減るわけではなく、実は就業人口という昼間働く人たちというのは、結構維持される可能性がある。例えば、周辺市町だと関ヶ原町の人口がとて減っているが、就業人口の製造業の人口は増えている。昼間人口でみると、大垣はかなり地方都市としては働きに来る人が多いところであり、それが今後もある程度続いていくと予想される。</p>

今、養老鉄道の利用者を定期で通学する高校生・中学生・大学生、定期で通勤される社会人の方、それから定期外の方の3分類で考えており、子供の数が減ってくるので、高校生での乗車数というのは減っていくだろう。

その未来の中で、就労する社会人、大人の需要をどれぐらいしっかりと確保できるのかが重要になる。今日の資料の中にもあるが、働いている、あるいは事業所の皆さんからの養老線の評価は、非常に厳しいものがあると思う。はっきり言って厳しい結果だと思う。

この原因がどこにあるのか。便が少なく混雑しており、なかなか大人が通勤で使うという感じになっていないところが問題。様々なアンケートにも、とにかく便が少ないということが非常に上がっているところも顕著に出ている。

それを何とかできないのか。しかもなるべくコストを抑えた形で何とかできないかということで、養老鉄道様に相当詳しく検討いただいて、40分以上の間隔の時間帯を30分までは縮められると可能性がある。

1時間の中で何分と何分というパターンダイヤを決められれば、ちょっとした移動にパッと養老鉄道を使おうかという意識が働くようになる可能性があり、せめて30分間隔とパターンダイヤを築くことを何とかできないかというのをメインで議論いただいている。お金のかかることなので理解を得る等の支援が必要となる。

人口は減りますが空白地帯になるわけではないので、人の移動のモードも変わってくる。その時、大人が当てにできる路線であるために、車両の更新という大きなことがあるので、それに合わせ、これはとても貴重な機会なので、全体的な計画、地域の未来イメージを合わせて構想して提案をしていければ良い。大人が当てにできるということが重要なキーになると思う。普段乗られていない方でも養老線を支持していただき、養老線の存在がこの地域社会にとってメリットなることを、しっかりまとめてアナウンスしていきたいと、計画を仕上げつつある。

・ **会長 石田大垣市長**

宇都宮のLRTは、郊外の工業団地に繋ぎ、工場勤務者が利用することで大成功したと考えている。養老線沿線も事業場が多く、働きに来る方が多いので、そうした方に当てにしてもらえるようにしていく必要がある。

また、駅から目的地まで交通手段が確保できると、利用が増えると考えている。企業にもしっかり通勤に利用してもらおうことも見据えながら、養老線の利用促進を進めていく必要があると思っている。

・ **養老鉄道 宗藤社長**

副駅名の設定などは、既存設備の老朽化の更新も兼ねて行えるので、良い取り組みだと感じた。

・ **樽見鉄道 今村部長**

樽見鉄道では、JA岐阜様と貨客混載を行っている。これにより、トラックの運転を43km削減、所要時間の短縮ができています。地域貢献の点からも続けていきたい。

養老鉄道のノウハウは、他の4つのローカル鉄道にも共有してもらっていると感じている。

・ **三岐鉄道 伊藤部長**

三岐鉄道は、利用者数はコロナ前に戻りつつある。ICも導入した。

12月20日には「サンタ電車」のイベントを行い、約1500名の方にご利用いただきました。

・ **名阪近鉄バス 谷口社長**

利便性を損なわないように運転士の確保に努めている。

昨年12月の運賃改定による利用者の減少はあまり見られず、増収に繋がっている。

遅延証明書については、これまで運転士が手書きで発行していましたが、利用者が自身で発行できる形に変更した。

・ **スイトトラベル 石田部長**

タクシー業界では、GOアプリや日本版ライドシェアの導入により、新しい客層を獲得できている。

・ **三重タクシー協会 内山北勢支部長**

通銀通学時間外に養老鉄道を利用してきたが、天候も良く非常にのどかで心地よかった。

経営等からは利用者増を考えて便数増も考えるべきだが、大きなものでなくても観光面から考えてみるのもどうか。

現状の養老鉄道の「ゆとり」などの良い点を生かせると良い。

・ **岐阜近鉄タクシー 高橋業務部長**

現状の岐阜近鉄タクシーは、忘年会シーズンであっても利用者があまり伸びていない。

・東大生 高橋氏（高校生等によるワークショップでのファシリテーター）
※委員ではないが、石田議長から発言を求められた

高校生・大学生のワークショップに参加できたことは、非常に有意義だった。出た意見を直近の計画でなくても、小さい事から実現に向けて活動していきたい。聞いた意見から議論をして実現させていきたい。

こういう会議があることを知ったのがここ数年のことで、こういう議論がされていることを知る機会がなかった。計画が存在することはなんとなく認知していたが、実際に自分たちで何ができるのか、これは大人が決めたことをそのまま進めたら終わりではないか、というように若者側としては感じていた。そうではないということ、様々なご意見を伺って知ることができたので、そうした機会がもっとあると良いと思う。

こういった堅い議論も大事だと思いますが、ぜひ若者もフラットに話し合える環境も作りたいと思う。

・会長 石田大垣市長

（高校生等によるワークショップからのご提言は）鉄道だけではなく、公共交通としてどうあるべきなのかとか、地域の商業店舗や企業などがどうあるのが望ましいかという思いも含まれていると思っている。

・イビデン株式会社 川崎部長

エコ通勤からもう一歩踏み込んで、例えば従業員用の駐車場を削減して費用を抑えたり、短期の非正規雇用の方を採用する際のハードルを下げたりする必要があると感じている。その際に、駅からのアクセスを周辺の企業や学校と連携して確保できればと考えている。

・イオンモール株式会社 加藤ゼネラルマネージャー

フードコートの設置による居住性の向上や、スポーツイベントとの連携によってコロナ前くらいに来場者が増えた。今後、イベント開催や養老線の施設改修などを行う際には、ぜひ協力させていただきたい。

・大垣特別支援学校 田中校長

当校の生徒もワークショップに参加できたことは、非常に有意義だったと考えている。

・大垣観光協会 杉崎副会長

西濃地域では様々なイベントを実施しており、養老鉄道とは、乗車によって割引券を配布する連携を行っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社大垣ケーブルテレビ 五十川社長 JRへの直通運転といった、夢のある取組みも進めていければ良いと思う。以前、学校再編をテーマにした番組を作成して高い評価をいただいたので、今後は養老鉄道をテーマにした番組を制作できればと考えている。 ・ 桑名市 伊藤市長 経営や観光といった側面だけでなく、日常の憩いの空間として鉄道を活用する方法もあるのではないかと感じた。 ・ 国土交通省中部運輸局 江川交通企画課長 アンケート結果の内容がより具体的になれば、我々も動きやすくなると感じた。ワークショップで出た、新生活を始める方向けのお試し乗車といったアイデアは、興味深い取組みだと思う。 ・ 国土交通省中部運輸局 松井計画課長 第32回鉄道の日イベント。鉄道事業者が一同に会し、2万人が来場。 栄開催だったので家族連れ等多かった。 今回は人材確保ブースも新たに設置し、学生向けの鉄道事業のPRパンフレットを若手職員が作成しイベント等で配布した。 鉄道関係者の皆様には、ブース出展・スタッフ派遣でご協力いただき感謝。 来年度も実施するので養老鉄道のPRに活用いただきたい。
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 席次表 ・ 会議次第 ・ 議題 資料No1～5、その他 資料No.6～7